

2004 年 11 月 7 日

消雪パイプの被害状況調査の概要

— 新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会(日本雪氷学会・日本雪工学会)との合同調査 —

災害研・雪氷グループ(和泉, 河島, 伊豫部)

1. 調査目的

市街地における消雪パイプの被害状況の把握

2. 調査日

2004 年 11 月 6 日

3. 調査地域

川口町(川口, 和南津), 小千谷市

4. 調査結果の概略

- ・ 震度の大きかった川口町では, 消雪パイプに外見上の損傷が認められる箇所が局所的に存在している(外見上損傷が認められない箇所もある)。
- ・ 消雪パイプの損傷は, 折れ曲がり, 接合部の段差・剥離, パイプ破断等である。
- ・ 消雪パイプとアスファルト路面との間に段差や亀裂が生じている箇所や, アスファルト路面自体に大きな凹凸が生じている箇所が多数あった。このような箇所では, たとえ散水が可能であっても, 水が路面全体にいきわたらない, 水が亀裂から漏れる等の理由により, 本来の消雪機能が期待できない。



写真 1 路面の変状(川口地区)



写真 2 消雪パイプの折れ曲がり（和南津地区）



写真 3 消雪パイプの破断（和南津地区）



写真 4 消雪パイプとアスファルト路面との間に生じた亀裂と段差（和南津地区）